



写真7. ヒナコウモリの下半身



写真8. ヒナコウモリの顔

短 報

岡山市の重要生態系で得られた県未記録の昆虫(2022)

公益財団法人岡山県環境保全事業団 寺田 剛

Newly recorded insects in Okayama prefecture collected from important ecological sites on Okayama city in 2022

Takeshi Terada, *Okayama Prefectural Environmental Conservation Foundation, Inc.*

Abstract

The nine insect species new to the fauna of Okayama prefecture are recorded from important ecological sites on Okayama city in 2022.

キーワード: 昆虫, 岡山県初記録, ハチ目, ハエ目, チョウ目

はじめに

岡山市は、市域において重要な生態系を有する地域を選定し、2022年に「岡山市の重要生態系リスト」を公表している（岡山市，2022）。また，同年以降，（公財）岡山県環境保全事業団は，岡山市との連携協定のもとで，岡山市の重要生態系のうち，野生生物情報が少ない地域について生物調査を実施している．同調査については，2022年度の確認種一覧が公表されているが，ここではレッドリスト等掲載種や岡山県未記録の可能性のある種を含む一部の未同定種を除外している（岡山市，2023）．この未同定種のうち，標本が得られている昆虫類について精査した結果，岡山県野生生物目録2019 ver. 1. 4（岡山県野生動物植物調査検討会（編），2023）未掲載で，これ以降の県内記録もないことから，本県未記録と考えられる種を認めたため報告する．

確認記録

岡山県未記録の昆虫9種が確認された．以下に確認記録を示す．なお，いずれも採集地は岡山市内であり，採集者は著者であるため，採集地情報は区以下とし，採集者は省いて示す．また，この

9種以外に小蛾類の未記載種が1種得られているが，本種については別途新種記載予定であるため本報では取り扱わない．

ハチ目

ナガコバチ科

シロオビタマゴバチ

Mesocomys albitarsis (Ashmead)

1♀，東区邑久郷紅岸寺城跡，12. X. 2022

ハエ目

ミバエ科

ネッタイヒメクロミバエ

Spathulina acroleuca Schiner

1ex., 東区宝伝宝伝海水浴場，12. X. 2022

チョウ目

ヒロズコガ科

クロスジキヒロズコガ

Tineovertex melanochryseus (Meyrick)

1♂，北区御津河内母谷，7. VII. 2022

モトキメンコガ

Opogona thiadelpha Meyrick
1♂, 北区御津河内母谷, 7. VII. 2022

ニセマイコガ科
ヒメシロシダマイコガ

Pachyrhabda margaritacea Terada
1♀, 北区真星真星川下流, 8. IX. 2022

ツツミノガ科
アオビユツツミノガ

Coleophora versurella Zeller
1♂, 北区御津河内母谷, 7. VII. 2022

キバガ科
イツボシマダラキバガ
Monochroa pentameris (Meyrick)
1♀, 北区建部町下神目志呂神社, 8. VI. 2022

ゴマフキイロキバガ
Pseudotelphusa acrobrunella Park
1♀, 北区建部町下神目志呂神社, 8. VI. 2022

ハマキガ科
マノヒメハマキ
Olethreutes manoi (Kawabe)
1♂, 北区御津河内徳藏神社, 6. X. 2022

謝 辞

本成果は（公財）岡山県環境保全事業団と岡山市との連携協定のもとで，（公財）岡山県環境保全事業団環境調査部調査課（現・環境調査分析部環境調査課）により実施されたものであり，岡山市環境局環境部環境保全課自然保護係の皆様にもご協力いただいた。また，加藤学氏（山田養蜂場），河野太祐博士（九州大学）にはハチ目の県内記録及び同定の確認に関しご助言いただいた。記して感謝申し上げます。

引用文献

岡山県野生動植物調査検討会（編），2023. 岡山県野生生物目録2019 ver.1.4.
<https://www.pref.okayama.jp/page/602836.html>, 2023年6月13日更新；2023年11月13日閲覧（岡山県ホームページ）.
岡山市，2022. 岡山市の重要生態系.
<https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000038042.html>, 2022年7月26日更新；2023年11月13日閲覧（岡山市ホームページ）.
岡山市，2023. 令和4年度ローリング方式による自然環境モニタリング結果.
<https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000049947.html>, 2023年5月23日更新；2023年11月13日閲覧（岡山市ホームページ）.



写真1. シロオビタマゴバチ



写真4. モトキメンコガ



写真2. ネットイヒメクロミバエ



写真5. ヒメシロシダマイコガ



写真3. クロスジキヒロズコガ



写真6. アオビユツツミノガ



写真7. イツボシマダラキバガ



写真8. ゴマフキイロキバガ



写真9. マノヒメハマキ

短 報

岡山県におけるカワラバッタの生息確認(2022-2023)

公益財団法人岡山県環境保全事業団 寺田 剛

Confirmation records of *Eusphingonotus japonicus* in Okayama Prefecture, Japan (2022-2023)

Takeshi Terada, *Okayama Prefectural Environmental Conservation Foundation, Inc.*

Abstract

The endangered grasshopper, *Eusphingonotus japonicus*, was recorded at the central part of Okayama Prefecture in 2022-2023.

キーワード: 昆虫, 直翅目, 絶滅危惧種, 河原

はじめに

岡山県内における本種の最も新しい生息記録は、青野（2018）の2017年8月の確認であり、池田（2018）においては、その2年前から2年間（2015年8月、2016年8月）県中部における確認が報告されている。これらの確認記録以降、2018年7月に西日本豪雨があったが、その後の本種の生息については公表された記録がない。西日本豪雨直後の2018年8月の池田（未発表データ）による調査では、池田（2018）の地点では生息が確認されなかったものの、他の1地点において本種が確認されており、西日本豪雨後の生息存続が確認されている。

その後、上記の生息確認から5年程度が経過したが、本種の生息状況については明らかにされていない。そこで、同地における本種の生息確認調査を2022年と2023年に実施した。なお、本種は岡山県版レッドデータブック2020（岡山県野生動植物調査検討会（編）、2020）において絶滅危惧I類に挙げられており、分布情報が非公開とされていることから、本稿においても生息地情報を明かさず報告する。

確認状況

調査は2022年9月13日及び2023年9月16日に実施し、当該地の河原を任意で踏査し、写真撮影により記録を行った。この結果、いずれの調査日においても本種が複数個体確認され、連年での生息が確認できた（写真1）。なお、2022年9月18日には池田（2018）における生息確認地点を訪れ、簡易な探索を行ったが、2018年の池田（未発表データ）の結果に引き続き、本種を確認できなかった。

謝 辞

本調査は（故）池田綱介氏が、所属先の（公財）岡山県環境保全事業団に残された調査データに基づいて行われたものである。また、（公財）岡山県環境保全事業団環境調査部調査課（現・環境調査分析部環境調査課）の皆様には2022年の現地調査の実施に協力いただいた。記して御礼申し上げる。

引用文献

青野孝昭, 2018. カワラバッタ雌雄の出会い。すずむし(153) : 1.